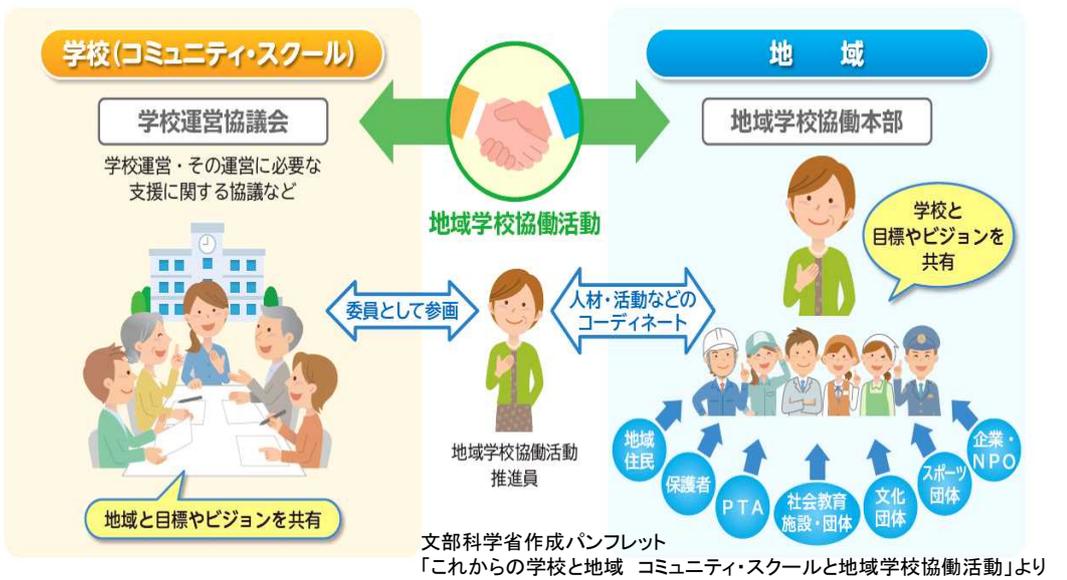


コミュニティ・スクール～地域とともにある学校～



菊陽町では、町内全小中学校に、学校運営協議会を設置（コミュニティ・スクール）し「地域とともにある学校づくり」を目指しています。各学校で、「地域でどのような子どもを育てるのか」という目標を共有することが必要です。また、地域学校協働活動といって、地域の方々に様々な学校支援（西小では、カライモ植えやひょうたん栽培、プロフェッショナルの話を聞く等）をしていただく仕組みもあり、学校と地域をつなぐコーディネーター（武蔵ヶ丘中校区は山下さん）にお世話になっています。子どものために、周りの大人がどう連携するかが大切だということですね。これをわかりやすく表したのが下の図です。



菊陽西小だより

7月

NO.12
R 2. 7. 21
菊陽西小学校
文責：草場ルミ子

菊陽西小では、6/29に学校運営協議会を開催しました！ あいさつ、安心・安全



今年、まず学校経営方針、休校中の様子やその対応等について話をしました。1年生の登下校については、皆さんが心配されていたことでした。また昨年度の運営協議会でも『あいさつ』にみんなで取り組みたい旨、確認したところでしたが、「3ヶ月の休校を経て、あいさつがあまりできなくなっている」との話も出ました。今年度も、児童運営委員会の代表の子どもが参加し、「運営委員会でも、月曜・金曜の朝に、正門と南門であいさつ運動に取り組んでいるけれど、なかなか元気なあいさつが返ってこないこと」等を伝えました。運営協議会委員さんから「登校班長や上級生があいさつする班は、班全体があいさつするものな」という話もあり、「今年度も『あいさつ、安心・安全』を合い言葉に、先生たちも子どもたちも保護者も地域も一緒に取り組んでいきましょう」と、話が進みました。しっかり目標を共有し、安心・安全で、あいさつが飛び交う西小校区にしたいものですね。



6年修学旅行(10/27・28)・5年自然体験教室(9/4)

6年生には、7月17日に修学旅行についての詳細なお知らせを配付しました。5年生にも夏休み前にはお知らせを持たせます。西小の5年生は、毎年、菊池少年自然の家を利用しています。3週間ほど前、自然の家から、「西小は児童数が多いので、三密を防ぐため5年生を2つのグループに分けることで、宿泊教室を受け入れたい」との連絡が来ました。コロナ対策や引率のしかた、学年一斉にできないこと等課題も多く、総合的に考え、今年度は、宿泊教室でなく、日帰りで自然体験教室として実施することにしました。5年生の皆さん、ごめんなさい。いつもだったら、心配せずにできた行事、今年度はそういうわけにはいきません。コロナ対策には万全を期しますが、受け入れ側が大丈夫でも、学校内で陽性者（他学年児童や保護者を含む）が出たときは、実施ができない場合もあります。みんなで、感染予防を継続しなければなりません。皆さんのご理解とご協力をお願いします。（修学旅行のお知らせと自然体験教室のお知らせはHPにもアップしていきます。）



週末天気予報に、晴れのマークが見られるようになり、暑さは心配ですが、今年はずっとした気持ちになります。県南では大きな被害があり、胸が痛みます。心よりお見舞い申し上げます。さて、七月十四日(火)登校時間帯の大雨。西小はと言うと、6時に「通常通り登校」とメール配信。その後、更新された雨雲レーダーを確認し、「車の送りの可」のメールを7時に配信。七時十五分から八時五十分の五十分間に、約三百名の子どもが車で来校しました。徒歩登校の子も約七百名。通常通り、七時三十分から五十分頃までに学校に到着しました。登校班の中で、「送っていくことになった班では、一人で歩いてくる姿も見られず、また、大雨が降ると、一人歩いて登校させるのは、と送る方もおおいで、複雑な気持ちになります。送りたくはないけれど、一人歩いによる大規模な対応が必要になります。もちろん、先生たちも、着替えやカッパは準備済みで、対応してくれませんが、勤務時間前からの度々の長時間の対応は、働き方改革が言われる中、私としては申し訳なく思うのです。大雨時の登校。考えさせられることばかりです。皆さんは、どう思いますか...？

